

令和7年発生の中熱による労働災害事例

(奈良労働局管内事業場・労働者死傷病報告)

- 災害発生場所は、奈良県内の各所及び県外作業箇所等で発生しています。
- いずれも、休業(4日以上)災害です。
- 奈良市の最高気温と平均湿度は、参考指標です。(出典：奈良地方気象台「奈良県の気象」)

	日時	業種・職種	災害発生概要(参考：奈良市の最高気温、平均湿度)
1	4月22日 11:45 【屋外】	警備業 警備員	日陰のない屋外において、電気工事現場付近の車両誘導をしていたところ、中熱を発症。 (25.9、64%)
2	6月6日 18:00 【屋外】	建設業 現場作業員	土木工事現場から帰社し、仕事を終えて車で帰宅したところ、玄関先で体調不良となり、病院を受診。 (30.5、53%)
3	6月16日 12:00 【屋内】	食料品製造業 生産関連作業 従事者	充填作業中に頭痛、目眩、吐き気を感じ、しばらく休んでから帰宅したが、帰宅後も体調が優れず、翌日に病院を受診。 (35.5、72%)
4	6月16日 14:00 【屋外】	警備業 警備員	土木工事現場における警備業務において、休憩時間終了後、立ち上がった際に目眩でふらつき、仰向けに倒れた。 【死亡】 (35.5、72%)
5	6月18日 15:00 【屋内】	飲食店 飲食物給仕 従事者	厨房で天ぷらの調理と湯煎作業を行った後、休憩中に体調が悪くなり、動けなくなったため救急搬送。 (35.7、63%)
6	6月29日 14:30 【屋内】	飲食店 飲食物給仕 従事者	厨房で調理作業と洗い物作業を行い、休憩でバックヤードに行った際に気分が悪くなり、嘔吐したため救急搬送。 (34.5、65%)
7	6月30日 15:00 【屋外】	窯業土石 製品製造業 製造従事者	午前中に車両誘導作業を行い、事務所に戻ったところ、徐々に体調が悪くなり、手足のしびれや頭痛等の症状が出たため、病院を受診。 (35.7、65%)
8	7月23日 15:00 【屋外】	建設業 現場作業員	家屋の塗装工事において、塗装作業をしていたところ、中熱を発症。 (36.3、67%)
9	7月23日 17:00 【屋外】	運送業 ドライバー	荷物積込中、体調が悪くなり乗務を交替したが、勤務終了後に身体に異変を感じたため、病院を受診。 (36.3、67%)
10	7月24日 13:45 【屋外】	農業 農業従事者	除草した草をダンプへ積み込む作業中、ふらついていたため日陰で休憩させた後、車内でエアコンをつけて様子を見たが、手が痙攣していたため救急搬送。 【死亡】 (36.7、73%)

	日時	業種・職種	災害発生概要（参考：奈良市の最高気温、平均湿度）
11	7月31日 10時30分 【屋外】	その他の商業 作業員	分譲地に設置された看板やのぼり旗の撤去作業中、頭痛、手足のしびれを感じて休憩したが、症状が改善せず、事務所に戻るも症状が悪化したため、救急搬送。 (36.5、62%)
12	8月14日 9:00 【屋外】	廃棄物処理業 ごみ・し尿 処理従事者	ごみ収集作業中、意識レベルの低下や脱力感があったため、作業を中止して応急処置を行ったが、症状が改善せず、救急搬送。 (35.8、77%)
13	8月20日 16:30 【屋外】	建設業 現場作業員	作業中に腹痛を発症し、詰所で休憩したが、帰宅後も症状改善せず、病院を受診。 (36.1、66%)
14	8月21日 9:00 【屋内】	タクシー業 ドライバー	営業運転中に頭痛とじんましんが酷くなり、乗務を終えて帰宅後に体調が悪化したため、翌日に病院を受診。 (36.6、63%)
15	8月21日 11:30 【屋外】	建設業 現場作業員	建物解体後の敷地整地のための手元作業中、熱中症を発症。 (36.6、63%)
16	8月21日 13:30 【屋外】	通信業 配達作業員	二輪車で配達作業に従事中、午前の配達を終え事務所に戻ったが、体調不良を感じて休憩していたところ、意識を失い、救急搬送。 (36.6、63%)
17	8月28日 15:00 【屋外】	各種商品 小売業 販売店員	店舗の出入口付近（屋外）で商品の仕分け作業をしていたところ、頭痛、嘔吐、手足のしびれ等の症状が発症したため、病院を受診。 (35.8、69%)
18	8月29日 7:30 【屋外】	運送業 ドライバー	風通しの悪い駐車場で荷台の荷物シートの取外し作業をしていたところ、意識がもうろうとなり、救急搬送。 (35.9、67%)
19	9月4日 10:30 【屋外】	運送業 ドライバー	積み込み作業中に体調が悪くなり、休憩を取り帰社したが、再度体調が悪くなったため、病院を受診。 (32.2、78%)
20	9月16日 10:00 【屋外】	建設業 現場作業員	上棟作業中、疲労感がある中作業を続けていたところ、熱中症を発症。 (35.5、72%)

本資料は令和8年2月末までに把握した事例をとりまとめたものです。